

DO-IT Japan

ジョブシャドウイング

プログラム概要

このプログラムは…

本プログラムは、障害のある学生（障害学生）のためのジョブシャドウイングプログラムです。ジョブシャドウイングとは、学生が社員に終日ぴったりと張り付いて、職場での仕事の内容や進め方をじっくり観察することです。社員の方の仕事ぶりを間近で観察することで、企業で働く上でどのような力やスキルが求められるのかを学びます。また、本プログラムでは、障害学生と企業の間で双方のコミュニケーションを支援する中間支援組織（主に大学の障害学生支援部署）が関わり、プログラムの遂行をバックアップします。



企業が得られること

学生と社員が普段の職場で数日を共にすることで、同じ職場で障害のある若者とどう働くかを具体的にイメージできます。通常業務を観察するプログラムなので、特別な職務の準備は不要です。障害のある方に社内のどの職場でどう活躍してもらいたいかを考える事前ワークも、大学のサポートも得られ、学生と安心して対話できます。

障害学生が得られること

普段の職場で働く社員を観察しつつ、一日の折々で質問や交流ができるので、企業でのリアルな働き方、求められる知識やスキルを知ることができます。社員の方への質問や交流を通じて、自らのニーズについて適切に職場に説明する経験を得ることもできます。シャドウイングで学んだことは、今後の就活や大学での学びに活かしましょう！

支援部署が得られること

アルバイトやインターンシップを経験したことのない障害学生に対して、企業でのリアルな働き方を学ぶ機会や、自らのニーズを説明するセルフアドボカシーにチャレンジする機会を提供できます。企業の方とインクルーシブな働き方について話し合ったり、障害のある学生について、偏見のない理解を広げたりする機会にもなります。